

伝統を未来へ「繋」つなぐ

とこなめ山車まつり

第四回

主催 とこなめ山車まつり実行委員会

場所 ポートレースとこなめ西駐車場及び周辺

最寄駅：名鉄常滑線「常滑駅」

名鉄空港線「りんくう常滑駅」

◎当日は、会場付近で交通規制が実施され、道路が混雑します。

◎おでかけは、公共交通機関をご利用ください。

11/2(土)
15時～

令和6年

3(日)
9時～

〔後援〕 愛知県 愛知県教育委員会 常滑市 常滑市教育委員会
常滑市議会 常滑商工会議所 常滑ロータリークラブ
常滑ライオンズクラブ 常滑青年会議所
(一社)とこなめ観光協会 知多半島観光圏協議会
中部国際空港(株) イオンモール常滑 名古屋鉄道(株)
あいち知多農業協同組合 (株)三菱UFJ銀行
知多信用金庫 半田信用金庫
知多半島ケーブルネットワーク(株) 中日新聞社



地域文化財総合活用推進事業

デザイン：常滑高等学校クリエイティブデザイン科3年生

公式パンフレット

常滑の18輛の山車が集結



目次

- ごあいさつ……………P1、2
- 会場周辺マップ……………P3
- 山車輸送トレーラーコース……………P4
- 山車自走コース……………P5、6
- 山車運行スケジュール……………P7～10
- イベントスケジュール……………P11、12
- 山車紹介……………P13～18
- 伝統行事紹介……………P19、20
- 広告協賛企業等……………P21～26



とこなめ山車まつり
実行委員会 委員長
伊奈 利信

第四回とこなめ山車まつりの開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。常滑市制70周年を祝う特別記念事業として、市内各山車組・伝統行事組の皆様、市民団体様、地元企業様から深いご理解と多大なるご支援、ご協力を賜り、こうして第四回とこなめ山車まつりが開催できますことを心より感謝いたします。

私たち実行委員会では事業開催に向けて約2年前から計画を進め、「みんなでつくる山車まつり」と掲げ、市民参加、市民参画、協働を軸に組み立ててまいりました。市民参加型の企画やステージイベント、屋台グルメブースや地元地域ブースなどを充実させ、ご来場される多くの皆様笑顔で楽しんでいただけたら幸いです。

開催テーマの「繋(つなぐ)」には「伝統文化をつなぐ」、「世代をつなぐ」、「地域をつなぐ」と3つの思いが込められています。市内各地には古くから受け継がれる伝統文化があり、世代を越えたつながりによって、大切に懸念に保存継承されています。とこなめ山車まつりでは、これらの地域の伝統文化(山車・芸能)を一堂に会し、常滑の魅力を集結し、見て感じていただき、祭り人のみならず、多くの市民の皆様、ご来場される皆様とともに笑顔でつながり合う大きな輪を創りたいと思います。

結びに、皆様の益々のご健勝とご多幸、常滑市が魅力創造都市として更なる発展、活性化されますことをご祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。



愛知県議会議員
杉江 繁樹

「第四回とこなめ山車まつり」の開催、誠にありがとうございます。

常滑市制70周年を市民の皆様と共に祝うことができる、最高の場所を作り上げていただいたと思います。開催にあたりご尽力いただいた、伊奈利信実行委員長を始め実行委員会の皆様には、心から感謝と敬意を表します。また、今回のとこなめ山車まつりは、二日間にわたり開催されるということで、そのご苦労は大変なものがあったと思います。

昨年まで3年以上続いたコロナ禍では、地域に伝わる伝統芸能や祭礼に大きなダメージを与えました。人々が集まることや接触することを否定され、伝統の継承すらできない日々が続きました。そもそも人口減少で後継者が少ない中、全国でも途絶えてしまった祭礼行事もあるとお聞きしています。

しかし、この暗いトンネルを抜けた今年の春には、常滑市内各地で以前のような祭礼を拝見することが出来ました。各地区の関係者の皆様、伝統や祭礼を見事に繋いでくれた証だと思えます。

「とこなめ山車まつり」の特徴は、歴史のある名古屋型の山車や知多型の山車だけでなく、新たに建造された山車も含め地域の大切な御車が現き出されることです。また、山車まつり以外の飾馬や、地域に伝わる伝統芸能も一緒に見ることが出来ます。まるで山車まつり日本一の愛知県を、凝縮したようなお祭りだと思えます。

この「第四回とこなめ山車まつり」を一つの節目として、今後も常滑市内のお祭りや伝統が繋がっていくことを祈念し、お祝いの挨拶とさせていただきます。



常滑市長
伊藤 辰矢

「第四回とこなめ山車まつり」の開催、誠にありがとうございます。

また、市制70周年を迎える節目の年に、盛大なる祭りを企画いただきましたこと、とこなめ山車まつり実行委員会の皆様のご尽力に心から敬意を表しますとともに、参加される各地区の皆様へ深く感謝申し上げます。

常滑市は、2005年の中部国際空港開港を機に「伝統ある資源」と、近年新しく作り出された「新たな資源」が共存するまちへと着実に発展してまいりました。そして今年、市制70周年を迎え「市民の『わ』でつくる魅力創造都市」をテーマに、様々な記念事業を開催しているところです。中でもとこなめ山車まつりは、多くの市民が参加できる事業としてその大役を担っています。

とこなめ山車まつりは、市内の山車や伝統芸能が一堂に会す活気あふれる祭りで、毎回市内のみならず市外からも多くの人々が訪れます。威風堂々と並んだ山車は壮観で、山車まつりは常滑市の誇りです。今回も、参加した一人ひとりが、常滑の伝統文化に触れ、故郷への想いを一層深める機会となるとともに、祭りのテーマ「伝統を未来へ『繋』つなぐ」とおり、人と人を繋ぎ、さらなる次代へ伝統文化を繋いでいくことを願っています。常滑市としまでも、魅力創造都市の実現に向けて、常滑市を世界と未来に繋いでまいります。

最後になりましたが、とこなめ山車まつりが、常滑の伝統文化の継承に大きく貢献されることを祈念し、挨拶とさせていただきます。



衆議院議員
伊藤 忠彦

この度は「第四回とこなめ山車まつり」の開催、誠にありがとうございます。

市政70周年を迎えた節目の年に開催するにあたり、ご尽力いただいた「とこなめ山車まつり実行委員会」の皆様、そして関係者の皆様へ心から感謝申し上げます。

「とこなめ山車まつり」は、市内の山車や伝統芸能を一堂に会して、披露することにより、市民の皆様が、故郷である常滑への愛着や想いを深め、まちの一体感を醸成され、伝統文化を次世代へ繋いでいく絶好の機会となっております。また、市外から訪れた皆様にも常滑の良さを知り、楽しんでいただきたいと思いますし、日本の中部の玄関口である常滑の伝統文化を世界に発信していきたいと思えます。そして今回も、文化庁の補助を頂いており文化庁の担当者がまつりを視察します。

また、常滑市は、平成17年2月17日に中部国際空港が開港し、来年には20周年を迎えます。日々、空港は中部地域の玄関口として国内各地域そして世界とを結んでおり、多くの空港利用者にとっても、常滑市の皆様にとっても重要な施設となっております。今後とも空港の利用促進と空港の能力向上のため、第二滑走路の建設に向け努力してまいります。

皆様にとって本日が、素晴らしい1日となることをご祈念しております。

会場周辺マップ

- 当日は、会場付近で交通規制が実施され、道路が混雑します。ご迷惑をお掛けしますが、公共交通機関でお越しください。
- 近隣の商業施設への駐車はご遠慮ください。



●常滑駅から約700m 徒歩約7分 ●りんくう常滑駅から約1.5km 徒歩約15分

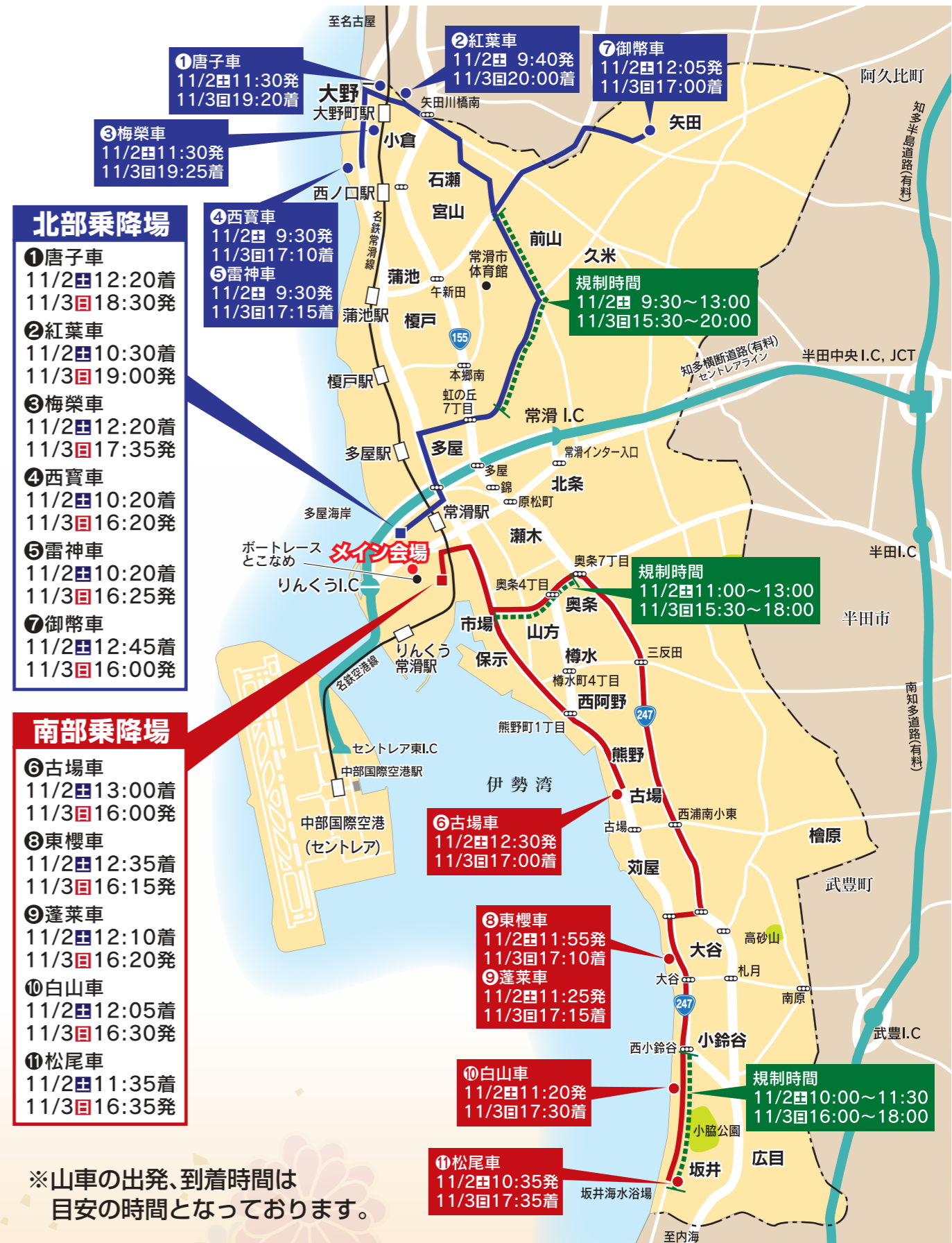


無料シャトルバス運行



山車輸送トレーラーコース

- 当日はトレーラーの通行により車線規制が行われる時間がありますので迂回のご協力よろしくお願ひします。



※山車の出発、到着時間は目安の時間となっております。

山車自走コース

11/2日

集合コース

解散コース



11/3日

集合コース

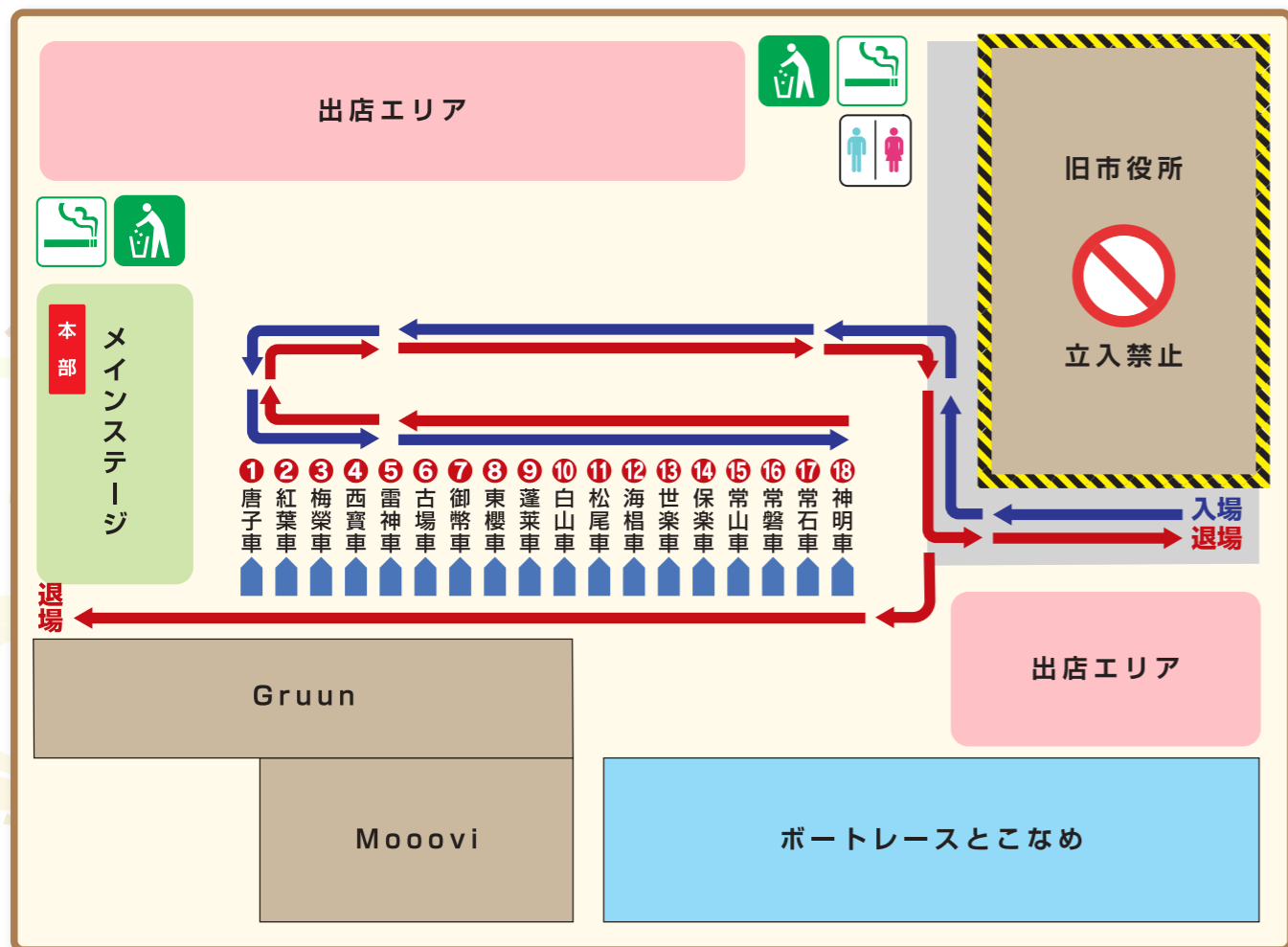
解散コース



山車運行スケジュール

11/2土

メイン会場 (ボートレースとこなめ西駐車場)



◆メイン会場集合コース



入場順	山車名
1	東櫻車
2	蓬萊車
3	保楽車
4	古場車
5	松尾車
6	雷神車
7	常山車
8	西寶車
9	白山車
10	常磐車
11	梅栄車
12	常石車
13	紅葉車
14	神明車
15	唐子車
16	世楽車
17	海樺車
18	御幣車

◆メイン会場から仮鞆までの巡行コース



退場順	山車名
1	神明車
2	常石車
3	常磐車
4	常山車
5	保楽車
6	世楽車
7	海樺車
8	松尾車
9	白山車
10	蓬萊車
11	東櫻車
12	御幣車
13	古場車
14	雷神車
15	西寶車
16	梅栄車
17	紅葉車
18	唐子車

11月2日(土) スケジュール

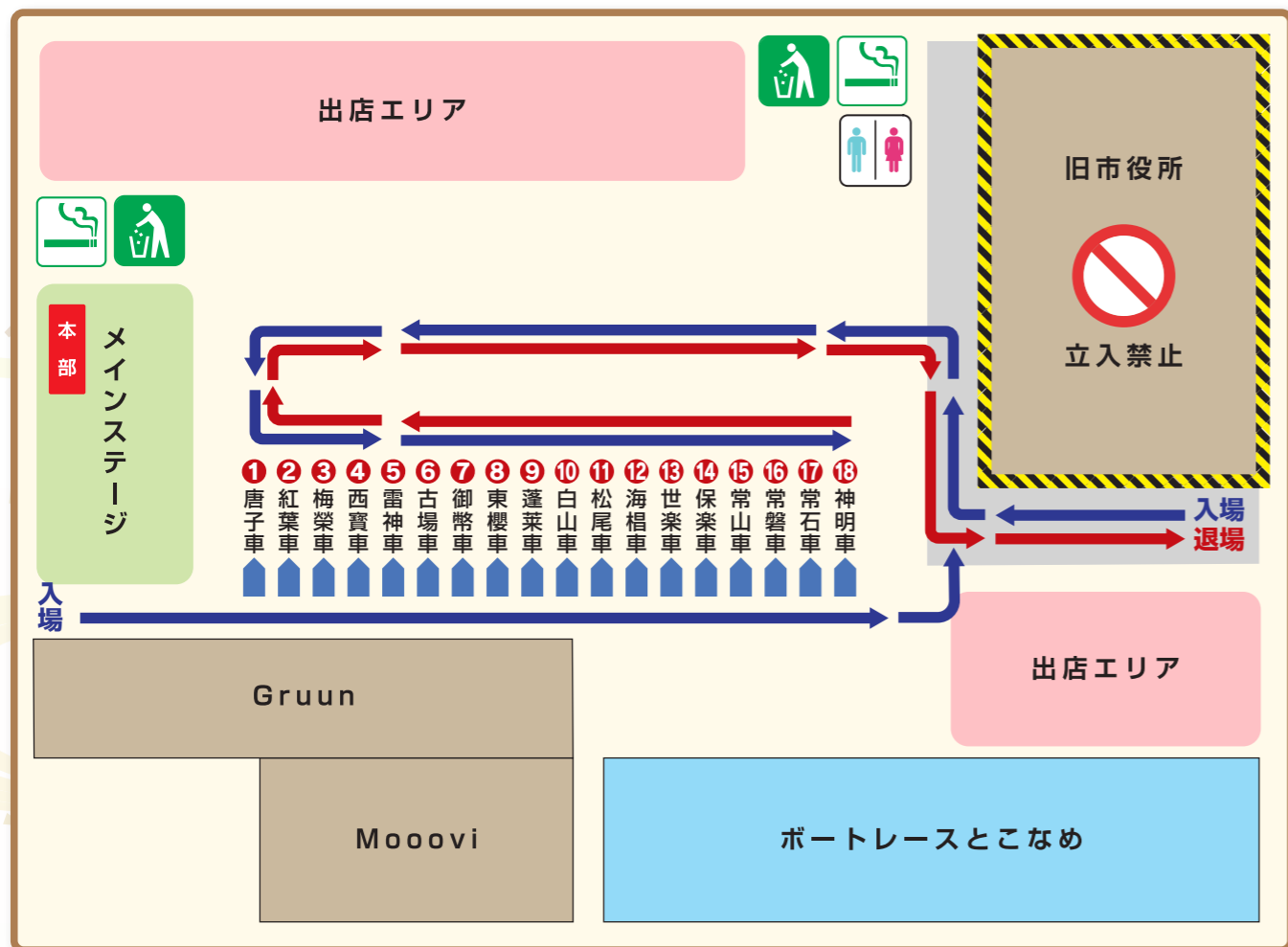
- 12:00 オープニングアクト
- 15:00 入場開始
- 16:25 山車勢揃い 提灯の取り付け
- 17:30 セレモニー
- 17:45 宵祭り開始 常滑市街巡行
- 18:40 山車鞆収納
旧常滑地区6輦は地元鞆に戻ります。
- 20:30 自走組帰着、全組解散



山車運行スケジュール

11/3日

メイン会場 (ボートレースとこなめ西駐車場)



◆メイン会場集合コース



入場順	山車/行事名
1	囃子(榑水区)
2	矢田万歳(矢田区)
3	囃子(久米区)
4	唐子車
5	紅葉車
6	梅栄車
7	西寶車
8	雷神車
9	古場車
10	東櫻車
11	蓬萊車
12	白山車
13	松尾車
14	海樺車
15	世楽車
16	保楽車
17	常山車
18	常磐車
19	常石車
20	神明車
21	子供神輿(榑原区)
22	御幣車
23	飾り馬(榑戸区)

◆メイン会場から乗降場、帰路について



退場順	山車/行事名
1	唐子車
2	紅葉車
3	梅栄車
4	西寶車
5	雷神車
6	古場車
7	御幣車
8	東櫻車
9	蓬萊車
10	白山車
11	松尾車
12	海樺車
13	世楽車
14	保楽車
15	常山車
16	常磐車
17	常石車
18	神明車

11月3日(日) スケジュール

- 7:30 寄せ太鼓
大野区、西之口区
- 8:50 入場開始
- 10:55 セレモニー
- 11:15 伝統行事披露
- 12:20 からくり披露
- 13:30 退場開始



11/2日

宵祭り

- 12:00 知多娘。ステージライブ **メインステージ**
- 13:00 セントレア開港20周年 **メインステージ**
ニンジャショー
(徳川家康と服部半蔵忍者隊®)
- 13:45 和太鼓演奏 **メインステージ**
とこなめ窯つ鼓座
常滑どかん太鼓
ちた和意和意太鼓
- 14:10 常滑市制70周年記念 **メインステージ**
古希お祝い囃子【常滑とつとこ囃子】
- 14:20 山田純平×熱響打楽 **メインステージ**
和太鼓特別演奏
- 15:00 山車入場 **メイン会場**
- 17:30 セレモニー **メインステージ**
- 17:45 宵祭り開始 常滑市街巡行 **メイン会場**



知多娘。



徳川家康と服部半蔵忍者隊®



山田純平×熱響打楽

11/3日

本祭り

- 7:30 寄せ太鼓 **メイン会場周辺**
大野区、西之口区
- 8:50 山車入場 **メイン会場**
- 10:55 セレモニー **メインステージ**
- 11:15 伝統行事披露 **メインステージ**
榎戸区【榎戸祭り囃子保存会】
樽水区【樽水囃子保存会】
矢田区【矢田万歳】
- 12:20 からくり披露 **メイン会場**
- 13:30 山車退場 **メイン会場**

からくり披露スケジュール

12:20	① 唐子車<肩車離れ>
	⑧ 東櫻車<三番叟>
	⑬ 世楽車<魔振り>
	⑰ 常石車<三番叟>
12:31	② 紅葉車<逆立ち>
	⑭ 保楽車<桃太郎>
12:40	⑮ 常山車<巫女舞>
12:42	③ 梅栄車<面かぶり>
12:51	④ 西寶車<文字書き>
	⑯ 常磐車<魔振り>
13:02	⑤ 雷神車<面かぶり>

ケーブルテレビで生中継!!



全ての山車を様々な角度からお見せします
常滑市の歴史紹介や山車の解説もあり
常滑市の伝統が良く分かる特別番組です

放送日時

11月3日(日) 9:00~13:30

放送エリア

TAC 121ch
CCNC

常滑市 武豊町
美浜町 南知多町

知多半島ケーブルネットワーク株式会社

medias 122ch

東海市 大府市
知多市 東浦町

知多メディアネットワーク株式会社



ちったん

※放送局は増える場合があります



大野北区 高須賀町 唐子車

唐子車は、寛保元年(1741年)に創建された、現在曳かれている知多半島の山車では最も古いと云われる山車であります。上山にからくり人形を載せた名古屋型(二層四輪外輪式)で、常滑市有形民俗文化財に指定されています。代表彫刻は、欄間が「松」、磨振り台が「龍」で、彫刻家・瀬川治助重光の作です。水引幕は、狩野派画家 森 高雅の「鳩群飛」という作品です。からくり人形は、天明5年(1785年) 蔦屋藤吉の作である磨振り、大唐子、小唐子、塩土老翁の4体からなり、塩土老翁の前で、大唐子が小唐子を肩車に乗せ、松の木に下げられた太鼓を囃子に合わせて叩くという離れからくりです。唐子車の勇壮な姿は、毎年5月3日(宵祭り)、5月4日(本祭り)の大野祭りで見ることができます。



西之口区 郷中 西寶車

山車は天保6年(1835年)に大野橋詰町で建造され文久3年(1863年)常滑市大野橋詰町より西之口が購入。明治25年修理時、幕も新調し、さらに山車の前山に載せる磨振り人形(1体)を明治25年辰6月新調と墨書きがあることから同時に購入したと思われる。作者は不明。

水引幕は大正13年(1924年)に新調。生地、加藤宗七仕立「波と千鳥」を金糸で刺繍され素晴らしい幕である。大幕前面は「西寶車」と刺繍されている。文字書き人形小唐子は文字板が出て、中唐子は墨付け筆を操る(2体)。そして大将座の恵比寿人形(1体)は鯛を釣る。人形は計4体で構成され文字書き唐子2体は平成10年、大将座の人形は11年に横井誠により制作。

平成16年高欄、高欄彫刻、屋根、台輪、塗等の修復を行った。

平成26年8月26日に常滑市有形民俗文化財の指定を受け、現在に至る。

お囃子は19曲で祭礼を行っている。



大野北区 橋詰町 紅葉車

山車は、文久3年8月(1863)大工酒井久七によって創建された名古屋型であります。彫刻は瀬川治助(重光)作で、支輪(雲に星座)は、木で彫られ黒の漆地に金が塗られ、紅葉の葉は金物などで止めてあります。本祭りに飾る高欄は源氏香を配した漆塗彩色で豪華なものとなっています。飾り幕は緋羅紗で前幕に橋詰町の文字、大幕と追幕共に無地となっています。水引幕は、絹による鶴の刺繍を施したもので、下絵を喜田華堂による大変豪華なものとなっています。人形は、前唐子・小唐子(逆立唐子)・中唐子・豊太閤(豊臣秀吉)四体で、天保6年(1835年)に五代目玉屋庄兵衛によりつくられました。唐子が紅葉の幹に左手で逆立ちし囃子に合わせ首を振りながら鉦をさばき打ち鳴らします。囃子は、20曲ほどあり宵祭りに演奏する中須賀は古い仏教音楽で舟神楽といわれ市の無形文化財に指定されています。



西之口区 鉄砲津 雷神車

山車建造は天保13年(1842年)。名古屋市中村区(旧広井村中之切)で建造されました。江戸末期、名古屋城「三の丸天王まつり」に旧広井村中之切「張良車」として曳かれておりました。明治11年に西之口区鉄砲津が山車、人形、幕一式を買い受け、雷神車と命名され、その後「雷神車」と名前を変えました。平成5年に山車を修復し30年振りに山車まつりが復活しました。

からくり人形は前山に「磨振り人形」上山に「張良」「龍神」「大将人形」の4体があり、いずれも弘化4年江戸末期に隅田仁兵衛真守の手により作られております。からくりは、能の演目「中国、漢の時代の張良」をモデルとした張良と面かぶり龍神が主人公です。平成22年には新たに張良にふさわしい人形囃子も完成し、からくり人形を奉納しております。

平成29年には、本来の大将人形「黄石公」を修復復元し、常滑市有形民俗文化財に指定されました。



大野南区 十王町 梅榮車

約230年前の1785(天明5)年、十王町に最初の山車「榮遊車」が誕生しました。

その後老朽化が進んだ為に売却し、1848(嘉永元)年、二代目となる現在の「梅榮車」が新たに建造されました。

当時575両を掛けて作られたこの山車は、手がけた職人の殆どが名古屋の名工で、先代と同じく二層外輪式の名古屋型であり、知多型の多いこの地域では珍しいものです。これは古くから、大野が名古屋と交易が盛んであり、徳川家とも深い係わりがあった為と言われています。

梅榮車の上段には大将「菅神渡唐像(菅原道真)」その前に「横笛童子」蘭陵王に変身する「面振り童子」前段には「磨振り唐子」と計4体が載せられています。製作は何れも名古屋のからくり人形師「二代目隅田仁兵衛・真守」による物です。

演目としている蘭陵王は今日、日本の舞楽で最も演じられているものです。



矢田区 御幣車

昭和62年、「みんなで楽しみ、子供達の絆を深めよう」と子供会で山車祭りを発案、地元大工と素人集団が半年かけて「子供会の山車・御幣車」を完成させ、同年秋に子供達約130名と役員で区内を引き廻し、子供会山車祭りが始まった。御幣車の由来は、昭和30年頃までは、3頭の馬を走らせた祭りを行っており、先頭から一馬には御幣、二馬に桜、三馬に柳を付けていた。この古い伝統を将来に伝えたいと、山車には一馬と同じ御幣を飾り付け「御幣車」と命名した。数年後、管理を子供会から区に移管し、区民の山車祭りが始まった。

その後32年の間に、建造当時の大工を中心とした創作集団と近隣の彫刻愛好家により改修等が繰り返され、今の御幣車となった。平成16年に地元手芸クラブを中心とした婦人達により矢田万歳をモチーフにした追幕を新調。平成25年には、牡丹と獅子を横幕にあしらひ、水引き幕も創作し豪華さを増した。

御幣車は建造時から現在に至るまで全て素人集団にて作り上げた山車で有り、これからも手造り山車としての愛着を更に深め、地元の宝として未永く守っていきたい。



多屋区 海梶車

「海梶車」は昭和63年より地元の大工を中心に多屋区民により一年がかりで創建された手造りの山車で平成元年の春より海梶神社の祭礼時に区内を曳き廻しています。

当初は、飾りの幕がなく公民館の緞帳を切り取って間に合わせたという逸話もあります。その後、年々山車飾りの彫刻や幕を充実させ手造りの山車として立派なものになってまいりました。現在も山車の改良を繰り返し「進化する山車」は祭りのシンボルとして区民の誇りとなっております。中でも地元の名古屋友禅伝統工芸士の渡辺桂子氏の手による追幕「鳳凰」は山車を一段と引き立てています。

さらに子供用の「ミニ山車」3台をこれも手造りで完成させて本山車が通らない区内を曳き廻し祭りを盛り上げています。



奥条区 常石車

常石車は、明治45年阿久比村の宮大工 岡戸峯次郎により建造され、平成30年に常滑市有形民俗文化財に指定された。

代表彫刻の脇障子・壇箱の「七福神」、持ち送りの「力神」は初代彫常の作である。

水引幕は白羅紗に金糸の縞海老の刺繍で、平成13年に復元新調された。また、追幕は常石車が常滑市有形民俗文化財の指定を受けた同年(平成30年)に新調された。

祭礼時に神前で奉納されている前棚の常石車三番叟は、六代目玉屋庄兵衛作で、祭囃子の「神鳴り・早舟」とともに昭和46年に常滑市無形民俗文化財に指定され、奥条囃子保存会によって継承されている。



北条区 神明車

初代神明車は、明治42年に諏訪神社を氏神とした東海市高横須賀町南脇組より譲り受けたものです。同じく祭囃子も伝授されました。

時は流れ、戦後老朽化が目立つことから昭和36年より二代目神明車の再建が始まり現在に至っています。知多型外輪の形状は初代を踏襲したものです。

また、令和6年には山車保存会設立60周年記念として、上山高欄周りに彫金(村井義幸氏 作)が取付けられました。

【代表彫刻】 壇箱『力神、四神(青龍、朱雀、白虎、玄武)』、前山懸魚『鳳凰』、脇障子『昇り龍、降り龍』、蹴込『唐獅子に手鞠』、前壇上部臺股『舞楽四図』、高欄臺股後『応龍』(二代目彫常)
前壇『龍神御札守座飾彫り』『獅子』『狛犬』(三浦佛工)

祭囃子…常滑市無形民俗文化財



山方区 常山車

現在の山車は、大正4年に阿久比の宮大工岡戸峰治郎によって建造された物で、知多型と呼ばれる構造になっている。

平成5年に宮大工岡戸昭夫によって堂山の高欄、斗形を改修、山車を飾る主要な彫物、壇箱の富士の巻狩り、前壇左右の脇障子の神功皇后と武内宿禰、その他蹴込、持送りの「力神」、前山の臺股、大平鱧、懸魚等は、昭和初期の初代彫常の作。

水引幕は「白羅紗地に唐獅子牡丹」である。

前壇のからくり人形は、大正8年6代目玉屋庄兵衛の作になるもので、神楽囃子にあわせて立ち上がり、両手に持った鈴と扇を揺らしながら巫女舞をする。



瀬木区 世楽車

世楽車創建は明治10年頃に武豊町富貴より山車購入からと伝わる。

現在の山車は大正3年に上半田南組より購入した事が瀬木区に残る山車記録帳で分かる。建造年は現存する旧部材、上山皿天井の裏に【天保拾三壬寅年 三月吉辰出来 藤原氏岸幕賢隆】と墨書きが残り判明する。現在でも建造当時の【壇箱】【持送り】【高欄隅擬首銚金具】を使用し壇箱内側の番付けは瀬木では使わない平仮名の墨書きが有り、古い木箱にも【南車】【上山屋根箱】と書かれ当時の名残を思わせる。

令和6年は世楽車の象徴でもある「瀬木のお木偶さん」魔振り(ざいふり)人形の衣装と山車提灯の復元新調を行う。お木偶さんは平成17年～18年萬屋仁兵衛氏により復元新調される。初代お木偶さんは明治10年頃名古屋から購入。江戸末期の浅野新助 作と伝わる。令和6年で天保13年建造当時の部材は182年、初代世楽車創建から147年、大正3年現山車購入110年、昭和24年世楽車大改修から75年の月日が経ち、平成31年に台輪一式を新調し瀬木区の宝物を先人から受け継ぎ後世に残せる様に継承している。

世楽車…常滑市有形民俗文化財 囃子(山車・勇み)…常滑市無形民俗文化財



市場区 常磐車

「常磐車」の創建は、明治以前に名古屋名道町から購入した舟形の山車に始まります。この山車は、「柴舟車」と呼ばれており、その後、多屋に売却されたと言われています。現在の「常磐車」は、大正13年に宮大工である岡戸峰次郎によって建造されました。常磐車の特徴は、前壇に魔振り人形、追幕に蘭陵王の稚児舞の刺繍、水引の紺地に鳳凰の刺繍です。また、昔の色街の面影を表す赤い提灯が特徴です。

令和6年に建造100周年を迎えました。

【代表彫刻】 壇箱「桃太郎凱旋の図」(初代彫常)、脇障子「天の岩戸」(初代彫常)、前山臺股「風神・雷神」(初代彫常)、前山懸魚「鳳凰」(彫弘)

【からくり人形】 魔振り人形(二代目萬屋仁兵衛:平成24年新調)



保示区 保楽車

現在の山車は大正13年に宮大工岡戸峰次郎によって建造されたものである。その後平成4年堂山高蘭斗形(どうやまこうらんますがた)を改修して現在に至っている。

からくり人形の初代「桃太郎」は大正13年(6代目・玉屋庄兵衛)の作である。前壇に置かれた大桃が2つに割れ、甲冑姿の桃太郎が現れて采配と軍扇を振りながら武者振りを見せる。神楽囃子が終る頃、再び桃が閉まるようになっていく。

保楽車の壇箱の彫刻は浦島太郎が玉手箱を手に持ち亀の背に乗って竜宮城から帰る情景が彫られ、蹴込みには七福神が乗った宝船が彫られている。



大谷区 奥條 東櫻車

東櫻車は明治初期建造と推定され、大正7年(1918)に大改修を施し、比較的新しいお車にもかかわらず、各部を塗り且箆押しして仕上げられています。主な彫刻は初代彫常の作品であり、壇箱「力神」蹴込み「竹に虎」脇障子「日本武尊・須佐之男」が代表彫刻になります。上山の四隅には「松」と「桜」を飾っています。

大谷山車祭りの起源は宝暦年間以前ともされ起源が古く、知多半島の中でも早い時期から行ってきました。見所は、八幡社とお旅所(大谷遊園地)での果敢な曳き回しと盛大な清めの塩まきで、提灯を飾り付けての曳き回し姿も美しいものです。祭当日は八幡社にて、小学生の巫女による「浦安の舞」も奉納されます。

大谷では現在でも若衆組織が祭礼を運営しており、多くのしきたり・伝統を守り、今に伝えています。

祭囃子は常滑市無形民俗文化財。



古場区 古場車

古場区の祭礼は、古場神明社の例大祭として4月第2土曜、日曜日に行われている。祭礼では、山車の曳き廻し(平成26年復活)、秋葉山での少年少女会員の祭り囃子演奏披露、獅子舞奉納(平成18年復活)が行われ地域を盛り上げている。

現在の山車は、知多半島屈指の変わり種、関西の「だんじり」を知多型風に改良(車輪、車軸、曳き綱、輪がけを新調、梶棒等を改良)した特殊な形状である。昭和59年に大阪府泉佐野市下瓦南地区で製作され、平成3年に、芦屋市三条地区が購入し平成14年まで曳き廻されていた。彫刻は龍が「紅染」、武者物「土呂幕」、鯉「土呂台」、川中島の戦い・五条橋の戦い「三枚板」に施されている。



小鈴谷区 白山車

安永年間、白山宮 正月十八日・九月四日 湯取神事 天王宮 六月十五日 獅子舞、と盛田家文書に記され、村名通り山車の曳き廻しに適さない地形でした。

明治三十八年日露戦争凱旋祝いに国中が湧き立ち、村で凱旋門や軍馬人形等を作り皆が仮装提灯行列で祝いをし、盛田本家から乃木大将と大砲を載せた(重箱車と呼ばれた)人形山が作られ、これが初代の御車となりました。

その後も人形飾りや提灯飾りをし、大正四年に盛田彦太郎御成婚祝いに前山が寄進されたが若者達は満足せず、同七年に鈴浜青年團が本式の祭車が欲しいと発起し、横松村の宮大工江原新助に建造を依頼し彫物は半田の新美常次郎に依頼し囃子は上野間村から伝承され同九年より曳き廻されるようになったのが現在の御車です。

また昭和六年に盛田敬三が発起者となり地元大工若子武一作の出櫃大廻しによる絡繰付糸操り上山人形が奉納されました。

令和二年に建造百周年を迎え、先人達の想いを受け継ぎ、経年劣化した部材や彫刻の修復を終え次なる百年への歩みを始めました。



大谷区 浜條 蓬萊車

蓬萊車は、天保13年(1842)横松(阿久比町)の宮大工岸幕善兵衛により建造されたものである。大谷地区は若衆組織が祭礼を運営し、多くのしきたり伝統を今に伝えている。主な彫刻は立川常蔵晶敬の作品である。代表彫刻は壇箱「唐子と犬」、蹴込「龍」、脇障子「関羽と張飛」、前山墓股「中国仙人列伝」である。

三番叟は能の「式三番」で千歳、翁に次いで3番目に出るところから名づけられたものである。三番叟は小学生3人の操りで行われている。蓬萊車の三番叟は翁(爺)、東櫻車は媼(婆)。長寿を祈願するものである。

蓬萊車は常滑市有形民俗文化財。祭囃子は常滑市無形民俗文化財。



坂井区 松尾車

坂井には、1755年から松尾神社奉賛会所有の山車があり、松尾神社内の山車蔵に所蔵されている。山車は、梶棒が主柱の内部にある旧形式であり、最上部の上山も、滑車で上下する仕組みになっている。彫刻は唐獅子牡丹、飛龍、唐草、大黒、牡丹花に丸、丸玉と獅子、波、乗馬の武士など多種多様にほどこされている。お囃子は、攻め、早船、狂言、道行、早い攻め、先代、夕日出、御婆、長船、新囃子、関所、お神楽、下がりかえしを、笛、楽鼓、締太鼓、大鼓、鼓で演奏する。祭礼では、山車の上を舞台として、糸からくり人形芝居を奉納することが古くから行われている。物語の演題は、「軍術營の白旗鬼一法眼館の段」といい、源義経を主人公にした恋と活劇の物語で、鬼一法眼の娘皆鶴姫が、義経の愛を得るため父の兵法書を盗み出し渡す濡場、それを取り返しにやってきた平広盛と娘との戦いなどで、実に面白い。そして、この人形操りの技術は、若衆制度によって、古来より伝統的に受け継がれ、今日に至っている。

久米区 囃子



久米区の祭礼には囃子と太鼓は欠かせません。しかし、この数年はコロナウイルスの影響でメンバーが集まっていた練習や祭礼での披露ができませんでした。ですが、昨年から少しずつ練習を再開し、今までのかたちを取り戻そうと活動しています。

活動の再開に伴って囃子方と太鼓方の着用する法被を今までの物とは違うデザインで新調をしました。

現在は人数は少ないですが、これから老若男女問わず人数を増やし「久米区お囃子保存会」として長く続けていきたいです。

樽水区 囃子



樽水のお祭りは津島神社の例年祭として4月第3日曜日に行われている。昭和初期には花車の曳き回しを行う形態で祭りを行っていたが、昭和40年代に花車の曳き回しが中止となり、囃子もいったん途絶えてしまった。

1990年ごろに有志の活動で囃子が復活し、囃子保存会を組織し、囃子奉納・子供たちへの伝承などの活動がはじまった。その際、大太鼓・小太鼓を積んだ囃子車が制作された。

現在所有している楽器は長胴大太鼓・半切り大太鼓・小太鼓と太笛(能管)・細笛(篠笛)がある。長胴大太鼓は慶応年間(1860年代)作成のものを修繕して利用している。

現在は例年祭で2台の囃子車を曳き廻して東西に分かれてのお神楽演奏を行っている。

また、地域の伝統芸能の継承を目的に、小学校での地域の伝統芸能についての出前授業を行い、囃子に興味を持った子供たちを増やす活動も行っている。

矢田区 矢田万歳



発祥の証拠なる古文書は消失しているが明治以降の出稼ぎが始まる以前で百年を超えて伝承されてきたものと推測される。

萬歳が伝承文化としての認識でなく、完全に芸能として矢田地区という限定地域に連綿と保存伝承されたことは貴重であり、市内にこれに優るものはなく、県内の同類のものが既に文化財と指定を受けていることもあり、平成九年三月二十六日に常滑市無形文化財として指定された。矢田萬歳の特徴は、「門付け萬歳・御殿萬歳・三曲萬歳」とあらゆる演目を披露するところであるが、今日まで伝承されてきたすべてが認定されている。現在、全国的な地域性喪失現象の中で、大切な地域文化として「矢田萬歳保存会」がその継承に尽力している。

檜原区 子供神輿



檜原の子供神輿は、平成の初期に地域の子供のために、地域の大人たちがアンパンマンなどアニメキャラクターのお神輿を手造りして、白山神社まで大人たちに守られ子供たちが担ぐことから始まった。

現在保有する「檜原子供神輿」は3台、金色の鳳凰と鈴、黒漆の担ぎ棒、紅白紐で装飾されたもので、平成10年に、宝くじ助成金により贈呈され、檜原大池南に移転した檜原公会堂に保存している。

春の祭りには、檜原公会堂から白山神社まで、青い法被を着た子供たちが、安全に運ぶことができるように台車に乗せて、担ぎ棒や綱をにぎりゆっくり歩いていく。

白山神社の鳥居前で台車からお神輿を持ち上げて、参道の階段を子供と大人が協力して登っていく。

榎戸区 飾り馬



私たちの先祖が、今の新田町、新浜町あたりの海岸を干拓し、松を植え、田畑にしようと努力した。しかし、築いた堤防が度重なる災害で決壊を繰り返し、くじけそうになる事も度々あった。その堤防を守るため、生きた馬を生け贄として、捧げた事もあったそうである。歯を食いしばって頑張ったお陰で、江戸時代中期ごろには生活も安定してきた。

それを祝って、犠牲になった馬の霊を慰め、村の安全を祈って、金・銀糸であしらった飾り幕をつけ、ボンネン・桜・柳の飾り花を乗せた飾り馬、3頭を巡行、奉納する祭りである。



フォトコンテスト



山車まつりの魅力

受賞者には豪華景品もご用意!

募集期間: 10月1日(火) ▶ 11月12日(火)

2024年の常滑春祭り・第四回とこなめ山車まつりで撮影した写真を

#2024とこなめ山車まつり とつけてInstagramへ簡単投稿!

応募方法

STEP 1

とこなめ山車まつりのInstagramアカウントをフォローします。

@tokoname_dashimatsuri
とこなめ山車まつり Instagram



STEP 2

ご自身のアカウントを「公開」にして2024年の常滑春祭り・第四回とこなめ山車まつりで撮影した写真を「#2024とこなめ山車まつり」とつけてInstagramへ投稿してください。

受賞者の方には、とこなめ山車まつりアカウントからInstagramのダイレクトメッセージにてご連絡いたします。



「子どもが夢を描ける」事業

体験を通じて可能性を伝えます!ぜひ親子でご参加ください!

日時: 11月2日(土) 12:00~14:30
会場: トコタンホール



各事業の詳細は、第四回とこなめ山車まつり公式HPよりご確認ください
第四回とこなめ山車まつり公式HP▶



主催: とこなめ山車まつり実行委員会

主催: 常滑青年会議所

第四回 とこなめ山車まつり広告協賛企業等

第四回とこなめ山車まつりに広告協賛して頂き心より御礼申し上げます。



変化に柔軟・いきいき笑顔
変化こそ進化！変化を楽しむ！

「変」な物流会社を目指しています。



SyncAge りんくう常滑



スペースあります。
お気軽にお問い合わせください！

東山株式会社

〒459-8001
名古屋市緑区大高町字二番割23-1
☎ 052-625-0145 (代表)



会社HP



Instagram



facebook

BOAT RACE とこなめ



食品 ボートレースバトルチャンピオントーナメント
BBC TOURNAMENT

2025
1/23(土) ▶ 1/26(日)



両元産業株式会社
両元運送株式会社

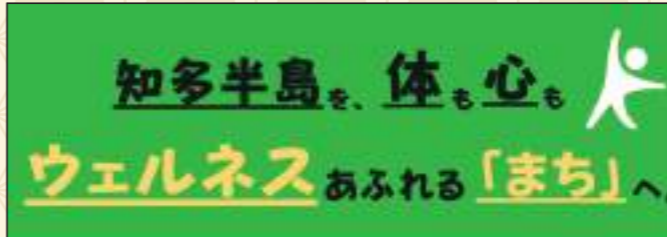
〒479-0021 愛知県常滑市大曾町5丁目13番地
TEL0569-35-6400 FAX0569-34-5950
http://www.ryomoto.jp



ちたしんは、
第四回とこなめ山車まつり
を応援しています！



知多信用金庫
常滑中央支店 あおみ支店 あすか台支店
TEL : 0569-35-3141 TEL : 0569-42-1137 TEL : 0569-34-6531



GREEN LIFE FITNESS
〒479-0831 愛知県常滑市額町4丁目54番地
TEL 0569-34-6667



〒479-0882 愛知県常滑市りんくう町3丁目9-5
TEL.0569-38-8108 FAX.0569-38-8111
営業時間/昼の部 11:00~15:00(LO 14:30)
夜の部 17:00~22:00(LO 21:00)
※土・日・祝日・繁忙期は11:00~22:00(LO 21:00) 定休日/年中無休

あしたを、ちがう「まいにち」に。



TOTOサニテクノ株式会社
〒479-0803 愛知県常滑市松原字来明5番地
TEL : 0569-34-5511
URL : https://tst.jp.toto.com



サンレー交通株式会社
三鈴化成(株)グループ

常滑市で創業し58年
金属プレス加工で自動車部品製造をしている会社です！

Instagramやっています
@ever_tokoname

会社紹介動画は
こちらからチェック⇒

エバー株式会社
〒479-0806 常滑市大谷字猿喰106番地
TEL 0569-37-0500
https://ever-tokoname.com/

木のぬくもりをお届けして 満75年
— 地元の皆さまのお役に立ちたい —



株式会社マルタケ
TEL 0569-42-0083

日本と世界を支える陶技術



杉江製陶株式会社
Sugie Seito Co., Ltd.




串焼・おぼんざい
とり伊

常滑市大野町2-193
TEL (0569) 42-0319

テイクアウトOK **P** 有ります




Pachinko & Slot
YURAKU

—有楽グループホームページもみてね!—
有楽グループ 検索
<https://yuraku-group.com/>

おでかけはお近くの有楽へ!!



常滑市医師団

地域のくらしの応援団



半田信用金庫

本部 : 0569 (21) 8211
常滑支店 : 0569 (36) 1811
<https://www.hanshin-ca.co.jp>



DENSO
DENSO DAISHIN

株式会社 デンソーダイシン
愛知県常滑市久米字御林200番地
TEL: 0569-44-0077

医療・介護・子育て
医療法人 資恩会

<p>瀧田医院</p> <p>〒479-0836 常滑市栄町 1-112 本館 TEL(0569)35-2041 リハビリ館 TEL(0569)35-0668</p>	<p>タキタ デイ プラザ</p> <p>〒479-0835 常滑市陶郷町 1-8-1 瀧田医院 分院(医療) TEL(0569)36-2111 タキタキッズプラザ(病児保育) TEL(0569)36-2112 タキタシニアプラザ(通所介護・通所リハ) TEL(0569)36-2113</p>
<p>介護付有料老人ホーム たきたやわらぎ邸</p> <p>〒479-0832 常滑市原松町 5-88 TEL(0569)36-1222</p>	



たけだ内科クリニック

2025年2月
~ありがとう20周年!!~
中部国際空港セントレアは20周年を迎えます




TOSHIKEN CO., LTD.
有限会社 敏建

〒479-0809 愛知県常滑市坂井字蛭沼48番地の2
TEL:0569-37-1711 FAX:0569-76-2027
URL:<http://www.toshiken104.jp>



太産自動車株式会社

〒479-0841 常滑市明和町1丁目11番地
TEL.0569-35-3763

常滑と歩み 新たな飛躍を!
株式会社 **水野組**



〒479-0003
愛知県常滑市金山大屋敷15番地の2
TEL0569-42-0177(代) FAX0569-43-4106
URL <http://www.mizunogumi.com/>




—信頼と実業をつなぐ、新たな「存在」—
愛知道路コンセッション株式会社

私たちは地域に根差す企業を目指します



大阪屋葬祭
TEL 0569-35-4949 (代表)

常滑ホール 鬼崎ホール 東龍寺樹木葬
リビング常滑 リビング常滑北

— 困ったときの —
知多学園

安心・信頼・人財

社会福祉法人 知多学園
常滑市大谷字鴨80番地18 TEL.0569-36-7770

たまごで人をしあわせに



ココテラスの丘
cocoterrace in oka

ホームページはこちら




医療法人 健幸会
伊藤クリニック

内科 胃腸内科 小児科 リハビリテーション科



WOOD LIFE

販売 ▶ 木材 / 建材 / サッシ / 住宅設備 / 輸入商材

株式会社ウッドライフ
〒479-0826 愛知県常滑市樽水町 1-128-1
TEL : 0569-36-1005
<https://woodlife-eco.co.jp>



アグリス
JAあいち知多

農とくらしを 全力応援

JAあいち知多マスコットキャラクター
「つっちー」と「あくりん」



KASUGAI

株式会社 **春日井金型**

TEL 0569-37-0341
FAX 0569-37-1259

www.kasugaikanagata.co.jp

自動車の電装部品を製造し続け71年
日幸ライト工業株式会社
 会社を伸ばし、みんなも伸びよう
 〒479-0002 常滑市久米字西仲原165 TEL: (0640) 43-6252
 http://www.nikko-lite.co.jp/

広告・販促・集客のトータルサポート!!
誠進社 seishinsya
 印刷 カラリング 看板 Web
 〒479-0829 常滑市本町1丁目35番地
 ☎0569-35-2025 E-mail: prs@seishinsya.co.jp

AsADA (株)浅田組

(有)藁重紙プレスセンター

(株)藤井組・リファインとこなめ

(株)古窯庵

内科小児科 須知医院

(株)久保設備

常滑市薬剤師会

〈順不同〉

CHIDA 市田建設(株)

中華園

(株)ヤマタネ

行政書士 権田事務所

久野金属工業(株)

相武歯科医院

日本モザイク(株)

(有)かみや

(有)フジイ

(株)東海エコン

中部りんくう都市まちづくり協議会

(株)知多ホーム

は はたなか歯科・口腔外科

(有)高山陶園

(株)かねふくめんたいパーク

いのう皮フ科形成外科

丸茂工業(株)

(株)山代

(有)東海マリンサービス

INAXライブミュージアム

(株)大道

常滑牛乳(資)

鍛冶島工業(株)

とこなめ耳鼻咽喉科クリニック

(株)ライフ とこなめ鍼灸接骨院

(株)OKADEN

飯嶋歯科医院

整形外科いしいクリニック

10口未満の協賛者様ご芳名は、ホームページに掲載させていただいております。



公式HP

三菱UFJ銀行様の寄付により ビブスを作成しています





公式HP



Facebook



Instagram

詳細は「とこなめ山車まつり」HP または
Facebook & Instagramでもお知らせ中!

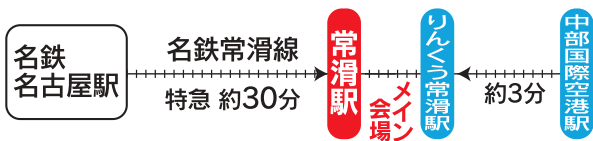
とこなめ山車まつり

検索

交通のご案内



電車ご利用の場合



お車ご利用の場合



無料シャトルバス運行



©当日は、会場付近で交通規制が実施され、道路が混雑します。ご迷惑をお掛けしますが、公共交通機関でお越しください。